



宇都宮市
Utsunomiya City

「総合治水・雨水対策基本方針」における
先行事業の結果について

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

資料3



先行事業の目標を超える貯留量となりました！

～先行事業の目標貯留量約20万 m^3 のところ、約33万 m^3 の貯留量に～

「総合治水・雨水対策基本方針」に定めた「流す」「貯める」「防ぐ・備える」の3つの柱に基づく先行事業で目標としている雨水貯留量約20万 m^3 について、約1.6倍の貯留量である約33万 m^3 の雨水貯留量を確保できました。

○ 先行事業の結果について

対策内容	主な事業	目標貯留量	達成貯留量
治水対策 「流す」	・護岸かさ上げ，調整池追加掘削 ・雨水放水路の活用による貯留	9,360 m^3	9,360 m^3
流域対策 「貯める」	・学校や公園への雨水貯留 ・雨水貯留タンクの設置 ・市管理ダムの事前放流の検討	111,549 m^3	109,180 m^3
土地利用対策 「貯める」	・田んぼダムの普及促進	80,000 m^3	217,730 m^3
計		200,909 m^3	336,270 m^3
減災・水防対策 「防ぐ・備える」	・被災情報の収集・集約体制の強化 ・令和元年東日本台風の溢水深さの電柱表示	被災情報を迅速かつ効率的に庁内共有するための専用システムや、赤川ダムのオンライン監視システムなどのシステム構築が完了・運用されている。	

⇒ 特に、田んぼダムの普及促進については、多くの農業者の皆様の協力により、総面積約180haとなり、目標貯留量を上回ることができた。

※ 達成貯留量 336,270 m^3 のうち、田川流域は 233,550 m^3

○ 今後の取組について

先行事業の目標の達成状況を踏まえ、「流す」「貯める」「防ぐ・備える」の3つの柱のもと、先行事業で着手した雨水貯留タンクの設置や田んぼダムの普及促進などについて、引き続き取り組むとともに、7月に国が示した「流域治水」の動向を踏まえ、有識者等の意見を伺いながら、栃木県と連携を図り、自助・共助・公助を組み合わせた総合的な計画として、「(仮称)総合治水・雨水対策推進計画」を策定する。(令和3年3月予定)

田川上流域における田んぼダム実施区域

